

DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ <円コース>

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興国ソブリン債に実質的な投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2023年10月6日～2024年4月5日

第166期	決算日：2023年11月6日	
第167期	決算日：2023年12月5日	
第168期	決算日：2024年1月5日	
第169期	決算日：2024年2月5日	
第170期	決算日：2024年3月5日	
第171期	決算日：2024年4月5日	
第171期末 (2024年4月5日)	基 準 価 額 純資産総額	3,520円 745百万円
第166期～ 第171期	騰 落 率 分配金合計	10.9% 90円

(注1) 謄落率は分配金再投資基準価額の謄落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

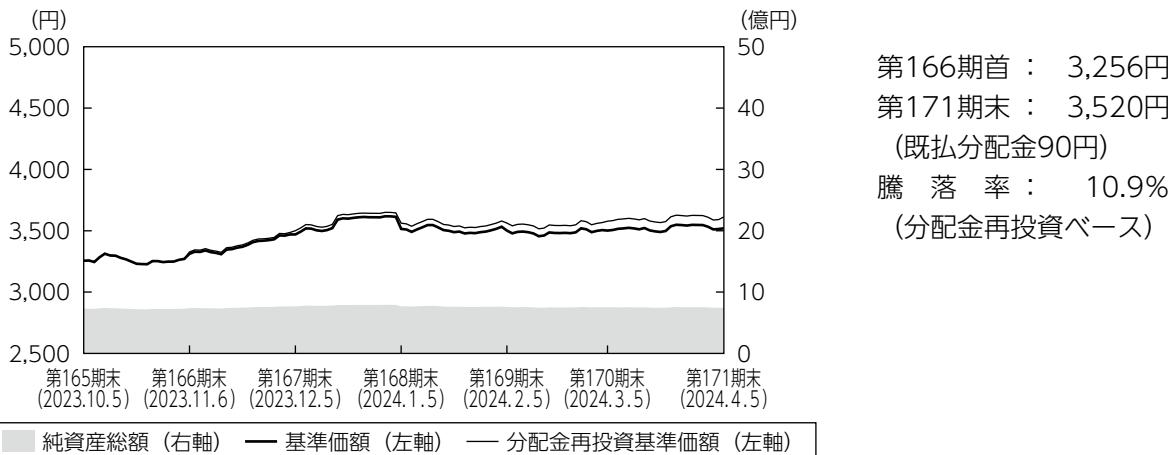
お客様のお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



基準価額の主な変動要因

新興国債券市場が、米金利の低下（価格は上昇）や信用スプレッド（利回り格差）の縮小により上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (JPY)	11.8%
D IAMマネーマザーファンド	△0.0%

(注) ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (JPY) の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

1万口当たりの費用明細

項目	第166期～第171期		項目の概要	
	(2023年10月6日～2024年4月5日)			
	金額	比率		
(a) 信託報酬 （投信会社）	20円 (8)	0.575% (0.230)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は3,456円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価	
(販売会社)	(11)	(0.329)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価	
(受託会社)	(1)	(0.015)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価	
(b) その他費用 （監査費用）	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用	
合計	20	0.575		

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

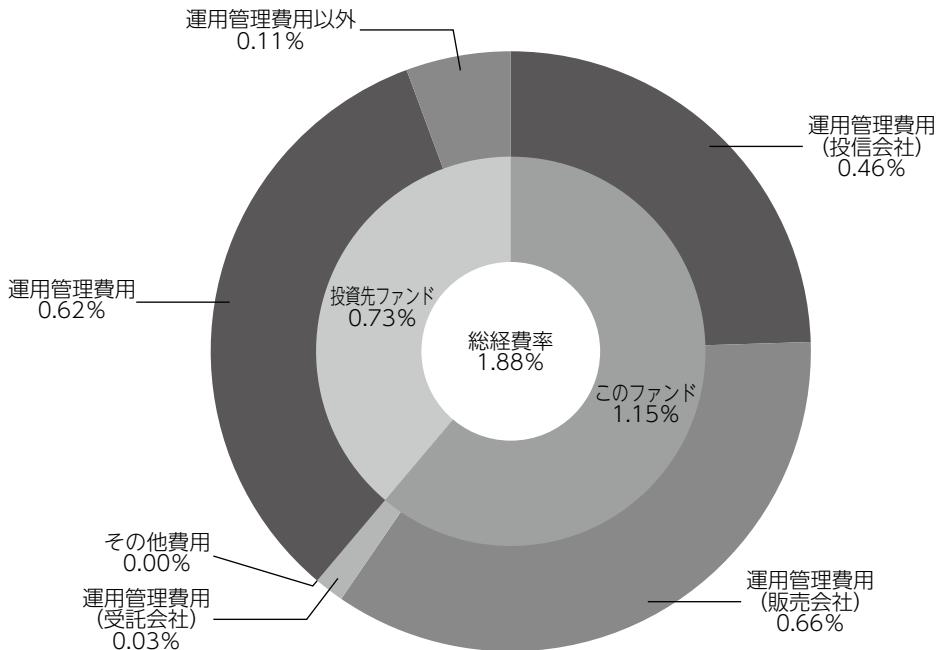
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)**◆総経費率**

当成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



総経費率 (①+②+③)	1.88%
①このファンドの費用の比率	1.15%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

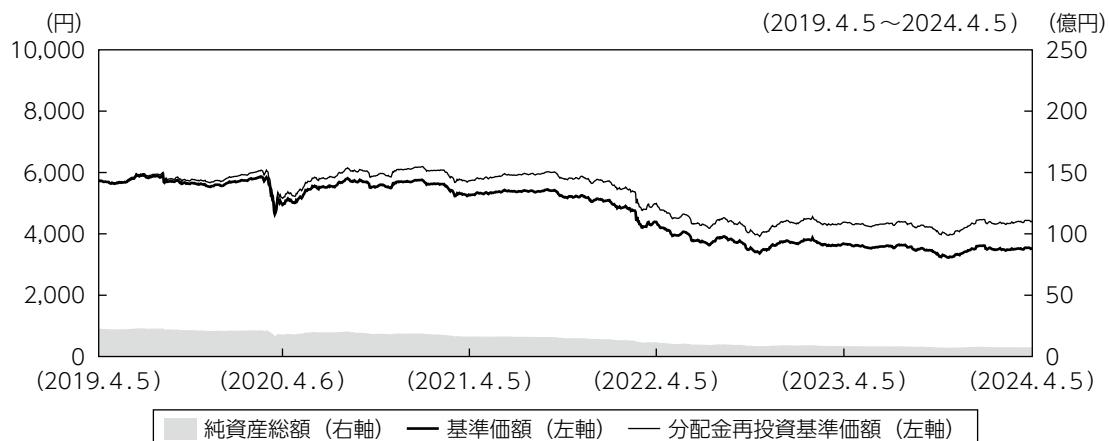
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2019年4月5日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2019年4月5日 期首	2020年4月6日 決算日	2021年4月5日 決算日	2022年4月5日 決算日	2023年4月5日 決算日	2024年4月5日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	5,739	4,945	5,258	4,388	3,674	3,520
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	240	240	220	180	180
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△10.1	11.0	△12.9	△12.1	0.9
純資産総額 (百万円)	2,265	1,780	1,623	1,165	857	745

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

投資環境

当成期の新興国債券市場は上昇しました。作成期初においては、F R B（米連邦準備理事会）の追加利上げへの警戒感が残存していましたが、2023年11月以降、米労働需給の過熱感が緩和され始めたことから、F R Bが2024年に利下げに転じるとの期待感が高まり、年末にかけて大幅に上昇しました。2024年に入り、F R Bの早期利下げへの期待が後退する局面もありましたが、米ハイテク大手の株価を中心にリスク性資産が堅調に推移したことから、上昇幅を拡大させました。

米ドル／円相場は、米ドル高円安となりました。F R Bがインフレに対してタカ派姿勢を維持し、早期の利下げ開始に対して否定的であった一方、日銀が大規模な金融緩和政策を維持したことから、米ドルは対円で上昇しました。2024年3月に、日銀がマイナス金利政策を解除したものの、長期国債の買い入れ方針を維持したことなどから、両国の金融政策のスタンスの差が大きくは変わらないとの安心感が広がったこともサポート要因となりました。

国内短期金融市场では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは、日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続した影響によりマイナス圏で推移しましたが、当成期末にかけては、マイナス金利政策の解除を受けて上昇の動きとなり、利回りはプラス水準に転じる局面がありました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス（J P Y）の組入比率は原則として高位を維持し、D IAMマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス（J P Y）

当成期の組入れ状況について、地域別では、アフリカ、中南米の比率をオーバーウェイトに、欧州、中東の比率をアンダーウェイトとしました。国別では、インド、韓国の組入れを除外し、メキシコのウェイトを引き下げた一方で、トルコ、コロンビアなどのウェイトを引き上げました。サウジアラビア、中国は非保有となっています。

また、米ドルを売り予約し、円を買い予約する為替取引を行いました。

●D IAMマネーマザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかつた利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第166期	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期
	2023年10月6日 ～2023年11月6日	2023年11月7日 ～2023年12月5日	2023年12月6日 ～2024年1月5日	2024年1月6日 ～2024年2月5日	2024年2月6日 ～2024年3月5日	2024年3月6日 ～2024年4月5日
当期分配金（税引前）	15円	15円	15円	15円	15円	15円
対基準価額比率	0.45%	0.43%	0.42%	0.43%	0.43%	0.42%
当期の収益	15円	15円	15円	15円	15円	15円
当期の収益以外	－円	－円	－円	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	734円	740円	745円	748円	751円	755円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス（JPY）を高位に組入れることを基本とした運用を行い、高水準の利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長をめざします。また、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行います。

●ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス（JPY）

新興国債券市場は、成長軌道への回復、資源価格の安定などにより、健全な財政金融政策を行う新興国を中心に先進国市場と比較して優位な資産となると考えます。投資戦略はサウジアラビア、中国をアンダーウェイト、コロンビアなどをオーバーウェイトとしつつ分散投資のメリットに重点をおき、地域配分では中南米、アフリカをオーバーウェイト、中東、欧州をアンダーウェイトとします。加えて、米ドルを売り予約し、円を買い予約する為替取引を行います。

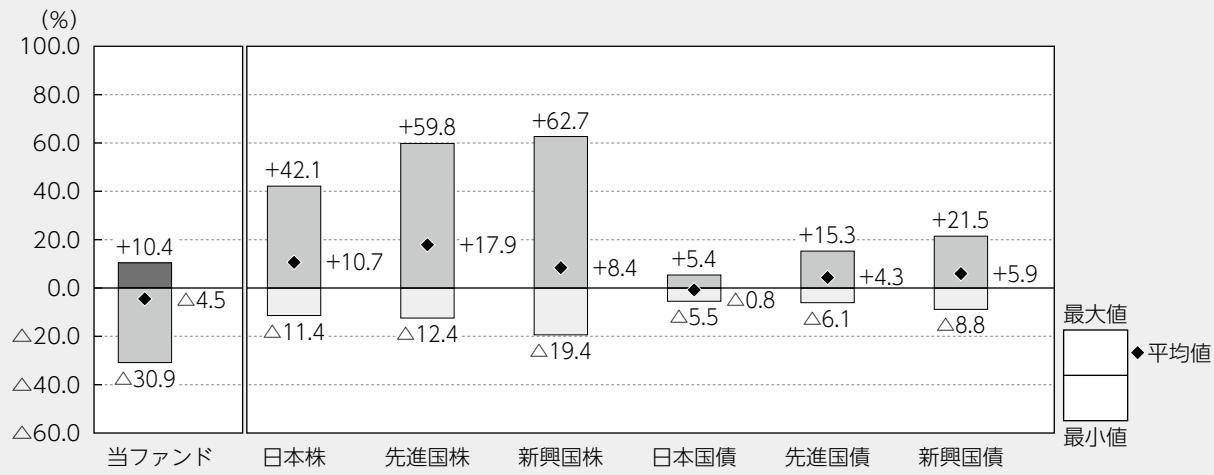
●DIAMマネーマザーファンド

日銀は2024年3月の金融政策決定会合で、マイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策の解除を決定しました。声明文で日銀は「現時点の経済・物価見通しを前提にすれば、当面、緩和的な金融環境が継続すると考えている。」としており、今後はプラス圏ながらも金利は低位で推移するものと見られます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券
信 託 期 間	2009年10月29日から2024年10月29日までです。
運 用 方 針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	主として円建ての外国投資信託である「ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス（JPY）」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託である「DIA Mネーマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運 用 方 法	主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興国ソブリン債（国債および政府機関債等 ^(*) ）に実質的な投資を行います。外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちますが、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案し決定します。 ^(*) 各国政府および政府関係機関が発行する債券であるソブリン債、または政府が出資している企業や政府保証が付いた債券である準ソブリン債を含みます。 外国投資信託においては、米ドルを売り予約し、円を買い予約する為替取引を行います。
分 配 方 針	決算日（原則として毎月5日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として利子配当等収益等を中心に対定分配をめざします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、基準価額水準を勘案し、安定分配に加えて委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。 「原則として利子配当等収益等を中心に対定分配をめざす」方針としていますが、これは、運用による収益が対定したものになることや基準価額が対定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては対定分配とならない場合があることにご留意ください。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2024年4月5日現在）

◆組入ファンド等

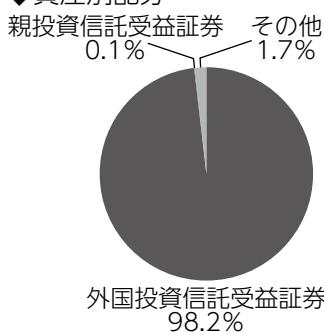
(組入ファンド数：2ファンド)

	第171期末 2024年4月5日
ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (JPY)	98.2%
DIAMマネーマザーファンド	0.1
その他	1.7

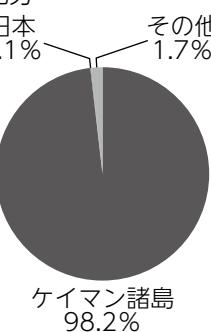
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

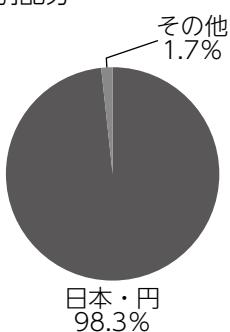
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

純資産等

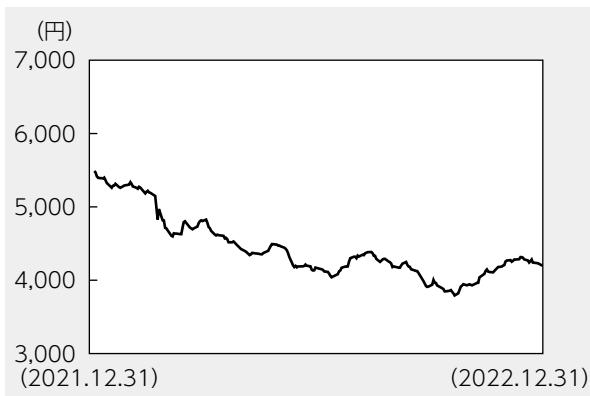
項目	第166期末	第167期末	第168期末	第169期末	第170期末	第171期末
	2023年11月6日	2023年12月5日	2024年1月5日	2024年2月5日	2024年3月5日	2024年4月5日
純資産総額	738,195,391円	766,752,384円	768,756,610円	757,962,487円	751,691,101円	745,697,982円
受益権総口数	2,229,179,424口	2,209,920,784口	2,186,903,614口	2,165,277,875口	2,147,151,821口	2,118,551,060口
1万口当たり基準価額	3,312円	3,470円	3,515円	3,501円	3,501円	3,520円

(注) 当作成期間（第166期～第171期）中における追加設定元本額は24,499,353円、同解約元本額は144,957,788円です。

組入ファンドの概要

[ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (JPY)] (計算期間 2022年1月1日～2022年12月31日)

◆基準価額の推移



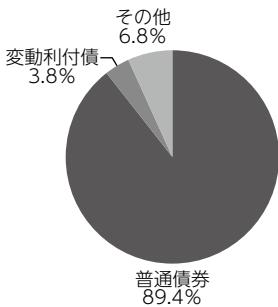
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
MEXICO (UNITED MEXICAN STATES) BDS 4.6% 15-23/1/46	アメリカ・ドル	3.4%
OMAN (SULTANATE OF) BDS 6.75% 18-17/1/48	アメリカ・ドル	2.9
QATAR (GOVT OF) BDS 4.4% 20-16/4/50	アメリカ・ドル	2.8
ABU DHABI GOVT INTL BOND BDS 1.7% 20-2/3/31	アメリカ・ドル	2.5
BRAZIL (FED. REPUBLIC OF) BDS 4.625% 17-13/1/28	アメリカ・ドル	2.4
TURKEY (REPUBLIC OF) BDS 6.125% 18-24/10/28	アメリカ・ドル	2.2
ARGENTINA (REPUBLIC OF) BDS STP 20-9/7/30	アメリカ・ドル	2.2
BRAZIL (FED. REPUBLIC OF) BDS 3.875% 20-12/6/30	アメリカ・ドル	2.1
QATAR PETROLEUM BDS 3.125% 21-12/7/41	アメリカ・ドル	1.9
OMAN (SULTANATE OF) BDS 6.25% 21-25/1/31	アメリカ・ドル	1.9
組入銘柄数		97銘柄

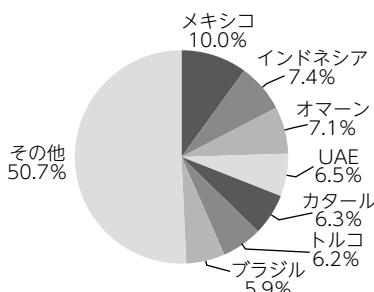
◆1口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

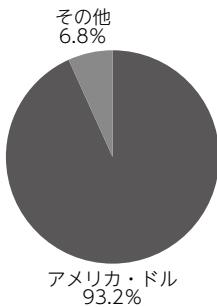
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移はケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (JPY) の計算期間 (決算日が休日の場合は前営業日まで) のものです。また、分配金を再投資したものとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ケイマン エマージング ソブリン ファンドの決算日 (決算日が休日の場合は前営業日) 現在の状況を表示しております。なお、組入外貨建資産については、ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (JPY) において、米ドルを売り予約し、円を買い予約する為替取引を行っています。

(注3) 比率はケイマン エマージング ソブリン ファンドの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

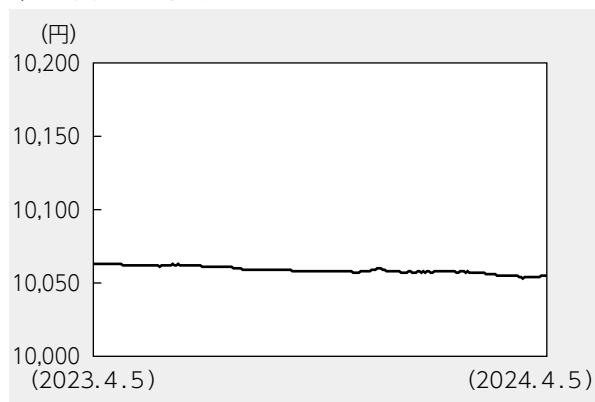
(注4) 現金等はその他として表示しています。

(注5) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社であるMizuho Trust & Banking (Luxembourg) S.A.のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[D IAMマネーマザーファンド] (計算期間 2023年4月6日～2024年4月5日)

◆基準価額の推移



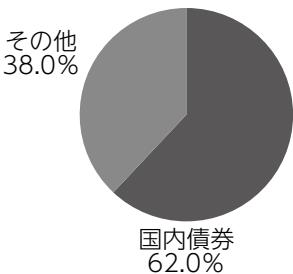
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
440回 利付国庫債券(2年)	日本・円	20.7%
441回 利付国庫債券(2年)	日本・円	20.7%
446回 利付国庫債券(2年)	日本・円	20.7%
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
組入銘柄数	3銘柄	

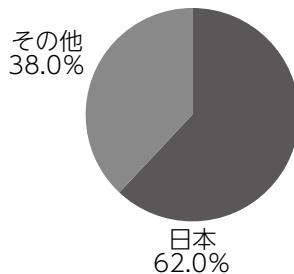
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

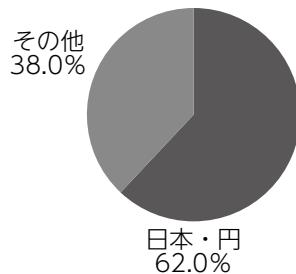
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄・資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指標について>

- 「東証株価指数（T O P I X）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指標の指標値および同指標にかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指標の算出、指標値の公表、利用など同指標に関するすべての権利・ノウハウおよび同指標にかかる標章または商標に関するすべての権利は J P X が有しています。
- 「M S C I コクサイ・インデックス」は、M S C I I n c. が開発した株価指標で、日本を除く世界の主要先進国の株価指標を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指標に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は M S C I I n c. に帰属します。また、M S C I I n c. は同指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「M S C I エマージング・マーケット・インデックス」は、M S C I I n c. が開発した株価指標で、新興国の株価指標を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指標に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は M S C I I n c. に帰属します。また、M S C I I n c. は同指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「N O M U R A - B P I 国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指標です。同指標の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、同指標の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「F T S E 世界国債インデックス（除く日本）」は、F T S E F i x e d I n c o m e L L C により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指標は F T S E F i x e d I n c o m e L L C の知的財産であり、指標に関するすべての権利は F T S E F i x e d I n c o m e L L C が有しています。
- 「J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指標です。同指標に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

